

福祉課

1 福祉のまちづくり

(1) 福祉のまちづくり条例

障がい者や高齢者等にやさしいまちづくりを進めるため、多くの人々が日常的に利用する購買施設、共同住宅、事務所、工場等の施設建設において事業者から「福祉のまちづくり条例(平成4年兵庫県条例第37号)」に基づいて届出や通知があった場合、適切な指導・助言を行った。

平成30年度 届出の件数3件 通知の件数0件 計3件

(2) 第3期地域福祉計画の推進

社会情勢の変化による新たな課題に対応し、さらに本市の地域再生計画との調整を図りつつ、地域福祉の一層の推進を図るため、平成29年度から令和3年度までの5か年を対象とした第3期三木市地域福祉計画を推進した。

2 民生委員・児童委員に関する事務

(1) 民生委員・児童委員活動

民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって保護指導に当たるとともに、社会福祉行政の協力者として日常活動を通じて地域社会の福祉増進に努めている。また、三木市連合民生委員児童委員協議会を組織し、9地区に分かれ毎月定例会を開き、研究討議を重ねる等広範囲にわたって活動している。

平成30年度の全民生委員・児童委員の活動状況は、次のとおりである。

ア 内容別相談・支援件数

区 分	件 数
在宅福祉	54
介護保険	39
健康・保健医療	223
子育て・母子保健	84
子どもの地域生活	393
子どもの教育・学校生活	242
生活費	51
年金・保険	3
仕事	4
家族関係	36
住居	34
生活環境	228
日常的な支援	911
その他	1,292
計	3,594

イ その他の活動件数

区 分	件 数 等
調査・実態把握	2,089
行事・事業・会議への参加・協力	3,362
地域福祉活動・自主活動	6,939
民児協運営・研修	2,295

証明事務	204
要保護児童の発見の通告・仲介	44
活動日数	18,718日
訪問回数	12,567回

(2) 民生委員・児童委員数

(単位：人)

地 区	委員数	内 訳	
		男	女
三 木	44	24	20
三 木 南	10	3	7
別 所	15	8	7
志 染	10	9	1
細 川	10	10	0
口 吉 川	9	6	3
緑が丘・青山	20	9	11
自 由 が 丘	22	9	13
吉 川	20	14	6
主任児童委員	11	1	10
計	171	93	78

3 遺徳顕彰会関係

市内の戦没者の御霊及び消防その他、あらゆる分野で地域社会に貢献のあった人々の御霊に対して追悼の誠を捧げ、永遠の平和と郷土の繁栄を祈念して、その実現に寄与すべく追悼式等を開催した。

(1) 追悼式等の開催状況

開催年月日			区 分	会 場	柱数(柱)	参加者数(人)
3 0	4	2 4	別所地区戦没者追悼式	別所町公民館	192	39
		2 6	吉川地区戦没者追悼式	吉川総合公園	358	48
		2 9	細川地区戦没者追悼式	豊地忠魂碑前	155	78
	8	1	水難防止祈願祭	中央公民館 西側駐車場	—	14
		1 5	三木市合同戦没者追悼式	上の丸忠魂碑前	1,688	100
	9	2 0	志染地区戦没者追悼式	志染町公民館	217	44
		2 5	三木地区戦没者追悼式	コミュニティスポ ーツセンター	481	36
	1 1	1	緑が丘・青山地区・自由 が丘戦没者追悼式	緑が丘鎮魂碑前	111	47
3 1	3	1 0	口吉川地区戦没者追悼式	口吉川町公民館	174	55

(2) 終戦記念日に関する行事

「戦没者を追悼し、平和を祈念する日」である8月15日の終戦記念日に、三木市出身戦没者を追悼するとともに、恒久平和を祈念する式典「三木市合同戦没者追悼式」を上丸忠魂碑前において開催した。

4 福祉コンシェルジュ

市民サービスの向上を図るため、市役所総合案内横に福祉制度に関する案内及び相談の窓口として配置した。

高齢者や障がい者、生活に不安のある方などの困りごとをお伺いして、福祉制度の説明や関係窓口の案内などを行った。

【対応件数】

(単位:件)

相 談	窓口案内等	初期記載案内等	その他	合 計
5,014	14,448	2,094	3,013	24,569

(相談の内訳)

(単位:件)

福祉関係	障害福祉関係	医療保険関係	介護保険関係	子育て支援関係	その他
872	550	1,041	457	175	1,919

5 災害見舞金等の支給状況

- (1) 火災による見舞金支給 全焼 2件(1世帯につき 50,000円)
- (2) 豪雨による見舞金支給 全壊 1件(1世帯につき 50,000円)

6 赤十字に関する事務

(1) 活動資金募集状況

日本赤十字社兵庫県支部三木市地区(地区長:三木市長)の奉仕団・自治会を通じて活動資金募集を行った。

実績額 4,385,075円

(2) 「赤十字の講習」の開催

万一の災害や事故、病気などに備え、救急法等の知識や技術を習得し、健康で安全な生活を送れるよう、日本赤十字社兵庫県支部より指導員の派遣を受け、「赤十字の短期講習(開催時間は各1~2時間)」を開催した。

平成30年度の赤十字の講習開催状況は、次のとおりである。

開催年月日			講 習 内 容	会 場	参加人数
30	10	20	健康生活支援講習	高篠公民館	22
		28	健康生活支援講習	別所町公民館	10
	11	5	防災啓発	市民活動センター	16
		14	赤十字救急法	緑が丘町ふれあいセンター	13
31	2	6	健康生活支援講習	中央公民館	20

7 高齢者福祉

高齢者が健康で、できる限り自立し、生きがいを持って暮らせるよう各種福祉事業を実施した。

(1) 生きがい対策

ア 老人クラブに対する助成

老人クラブは、高齢者の老後の生活を健全で豊かなものにするため、地域の高齢者が自主的に集まり組織された団体である。その活動は、会員が自主的に決定し、その実践を通して自らの生きがいを高め、健康の保持、増進を図り、新しい時代感覚を身につけ、新しい人間関係、交流を開拓し、また長年培ってきた知識と経験を生かして地域社会のために貢献することとしている。そこで、社会奉仕活動、生きがいを高めるための各種の教養活動、健康づくりに係る各種活動を年間を通じて恒常的、計画的に行う老人クラブに助成金(1クラブ当たり206,000円)を交付し、活動強化を促進した。

地区別老人クラブ数及び会員数

地 区	クラブ数	会員数(人)
三 木 地 区	22	1, 297
三 木 南 地 区	2	162
別 所 地 区	10	927
志 染 地 区	10	476
細 川 地 区	8	430
口 吉 川 地 区	11	518
緑 が 丘 地 区	4	206
自由が丘地区	9	499
青 山 地 区	3	164
吉 川 地 区	19	886
計	98	5, 565

イ 敬老祝金支給事業

高齢者の長寿を祝し、敬老の意を表すとともにその福祉の増進に資することを目的に敬老祝金を支給した。

対象者	人数（人）	支給単価（円）	支給金額（円）
7 7 歳	1, 231	7, 000	8, 617, 000
8 8 歳	433	10, 000	4, 330, 000
9 9 歳	39	20, 000	780, 000
1 0 0 歳以上	71	50, 000	3, 550, 000
合 計	1, 774		17, 277, 000

ウ 敬老会の開催

多年にわたり社会の進展に寄与された高齢者を敬愛し、長寿を祝福し、末永い健康の保持と生きる意欲の助長を図るとともに、市民の老後への関心を深めるため敬老会を開催した。

敬老会対象者数（75歳以上）及び補助金額

地 区	対象者数(人)	補助件数(件)	補助金額(円)
三 木 地 区	3, 347	43	5, 020, 500
三 木 南 地 区	723	7	1, 084, 500
別 所 地 区	1, 172	15	1, 758, 000
志 染 地 区	525	1	787, 500
細 川 地 区	447	22	670, 500
口 吉 川 地 区	389	1	583, 500
緑 が 丘 地 区	2, 152	12	3, 228, 000
自由が丘地区	2, 526	1	3, 789, 000
青 山 地 区	522	1	783, 000
吉 川 地 区	1, 274	44	1, 911, 000
その他（施設等）	319	11	478, 500
計	13, 396	158	20, 094, 000

エ 高齢者福祉活動推進事業

高齢者の社会参加を促進するための事業や市老人クラブ連合会活動、老人クラブ活動の指導

育成を行うとともに、高齢者の生きがいのあるところ豊かな福祉コミュニティの実現に努めた。

(ア) 花いっぱい運動 春(7月11日)、秋(11月14日)

(イ) ひとり暮らし高齢者のつどいの開催(10月12日)

(ウ) シャッフルボード講習会の開催(各地区公民館)

オ 金婚夫婦祝賀事業

結婚50周年を迎えた夫婦の長寿と豊かな人生を祝福し、さらに末永い健康保持を励まし記念写真、祝状の贈呈を行った。(71組)

カ ゲートボール場整備助成事業

地域の老人クラブ活動での仲間づくりと健康増進を促し、豊かな老後の生活に資するためにゲートボール場の整備助成を行った。(整備補助 9か所)

キ バス等の運賃助成事業

高齢者の社会参加と交流を通じて、生きがいと自立を高めるためにバス等の運賃の一部を助成した。

(ア) 対象者 70歳以上の者

(イ) 助成の種類

神姫バス(2,200円分の乗車券)、神姫バスニコパカード引換券(2,000円相当分のICカード作成券)、神姫バスニコパカードチャージ券(2,000円相当分のニコパカードチャージ券)、神姫ゾーンバス(2,250円分の乗車券)、神戸電鉄(2,040円分の乗車券)及びタクシー(500円の利用助成券4枚)の6種類とし、それぞれを1枚(冊)単位として交付した。

(ウ) 助成内容

《住民税課税者》 500円の自己負担で1枚(冊)交付。

《住民税非課税者》 自己負担なしで1枚(冊)交付。

(エ) 交付者数 13,797人

ク 運転免許証自主返納者(高齢者)に対する移動を支援し、社会参加の促進を図った。

(ア) 対象者 65歳以上の者

(イ) 助成の種類

神姫バス(2,200円相当分の乗車券)、神姫バスニコパカード引換券(2,000円相当分のICカード作成券)、神姫バスニコパカードチャージ券(2,000円相当分のニコパカードチャージ券)、神姫ゾーンバス(2,250円相当分の乗車券)、神戸電鉄(2,040円相当分の乗車券)及びタクシー(500円の利用助成券4枚)の6種類とし、それぞれを1枚(冊)単位として交付した。

(ウ) 助成内容

1年度に1回、(イ)のうちから5枚(冊)を対象者に交付する。

(エ) 交付者数 1,128人

ケ シルバー人材センター運営助成事業

高齢者の経験と能力を生かせる仕事を会員に提供して、高齢者の就業機会の増大と高齢者の生きがいの充実を図るシルバー人材センター事業の充実・強化を支援した。

コ 高齢者グラウンドゴルフ場利用助成事業

高齢者の交流の促進及び健康の増進を図るため、利用料金の一部を助成した。

(ア) 対象者 60歳以上の者

(イ) 助成内容 個人及び団体に対して利用料金の一部を助成

(ウ) 利用者数 延べ4,464人

サ 地域文化伝承事業

高齢者の生きがい対策として、高齢者の経験や知恵を活用し、市内の認定こども園、小・中学校等の園児・児童・生徒を対象に地域文化の伝承を行い、併せて世代間交流が活発になるように支援をした。

市内の認定こども園、小・中学校等で延べ20回実施 講師数 延べ74人

シ 高齢者温泉施設等利用助成事業

高齢者の外出及び交流を促進するとともに、健康増進を図るため利用料金の一部を助成した。

(ア) 対象者 70歳以上の者

(イ) 助成内容 対象施設で利用できる助成券を1冊(入浴1回につき300円×10枚)交付した。

(ウ) 利用者数

対象施設	利用者数(人)
吉川温泉よかたん	10,052
天然温泉湯庵	13,422
竹乃湯温泉	9,333
ネスタリゾート神戸延羽の湯	3,851
計	36,658

(2) 施設福祉対策

ア 養護老人ホーム

65歳以上の者であって、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を入所させ、健全な日常生活の確保を図った。

入所状況(平成31年3月31日現在) 55人

イ 入所判定委員会の開催

老人ホームへの入所措置及び継続の要否を判定するために委員会を開催した。

(ア) 開催回数 9回

(イ) 判定件数 9件

8 生活困窮者自立支援

(1) 自立相談支援事業

生活保護に至るまでの早い時期から支援を始め、本人の状況や意思を確認し、包括的な相談支援を行った。

区 分	件数(件)
新規相談受付件数	172
自立のためのプラン作成件数	20
自立相談支援事業による就労支援	11
就労件数	5

(2) 住居確保給付金

離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、賃貸住宅の家賃相当額を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行った。

年 度	人 数 (人)	金 額 (円)
平成28年度	12	473,500
平成29年度	10	302,200
平成30年度	13	404,000

※住居確保給付の支給期間は原則 3 か月。一定の条件の下、最大 9 か月受給可能。

(3) 一時生活支援事業

住居のない生活困窮者に対して一定期間宿泊場所や衣食の提供等を行った。

利用者数	6人
------	----

9 三木市福祉資金

生活困窮者が福祉六法に基づく諸施策の適用のない事象に係る費用の支出を困難とする場合において、当該生活困窮者に対し、その自立助長を図るため、福祉資金を支給した。

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
医 療 援 助 費	2	25,000
緊 急 援 助 費	2	35,000
行 路 人 等 旅 費 援 助 費	2	2,000
計	6	62,000

10 生活保護

生活保護法は、生活に困窮する人々に対し必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立助長を図ることを目的としている。

(1) 年度別保護費支給状況

(単位：円)

年度	生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費
28	253,875,424	87,253,128	3,262,764	15,278,305	515,004,442
29	234,283,556	85,630,962	2,296,998	15,284,804	576,252,874
30	218,399,315	83,935,181	1,753,599	12,256,169	554,414,316
年度	出産扶助費	生業扶助費	葬祭扶助費	施設事務費	計
28	403,045	3,397,682	2,605,820	30,478,175	911,558,785
29	639,214	3,091,894	1,953,830	27,495,894	946,930,026
30	428,135	1,793,267	2,664,204	23,936,771	899,680,957

(2) 年度別保護者数

年度	世帯数 (世帯)	人員 (人)
28 年度 3 月末	407	518
29 年度 3 月末	408	511
30 年度 3 月末	392	471